

ミネルヴァ書房版『失われた九州王朝』初版第3刷 正誤表 (Ver.20240910a)

			誤	正	備考
1	iv	6行目	『「邪馬台国」はなかった』朝日新聞社/一九七一年、朝日文庫/一九九二年、参照)	『「邪馬台国」はなかった』朝日新聞社/一九七一年、ミネルヴァ書房復刊/二〇一〇年、参照)	
2	15P	-7行目	(二百蘭亭斎古印収監) ※ルビは、蘭亭斎古印せいこいん	(二百蘭亭斎古印収蔵) ※ルビは、蘭亭斎古印収蔵らんでいさいこいんこうぞう	20240420追記
3	16P		(悪適尸逐・奠韃日逐) ※ルビは、悪適尸逐あくてきしすい、奠韃日逐おうけんじっすい	(悪適尸逐・奠韃日逐) ※ルビは、悪適尸逐あくてきしちく、奠韃日逐いくけんじちちく	20240420追記
4	31P	6行目	復刻版 一七九～一九六ページ	復刻版 一四二～一五六ページ	
5	77P	-8行目	ほけいたい	ほうけいたい	
6	77P	-7行目	ばんじょうにゆう	かんじょうにゆう	
7	85P	-7行目	～六四八	五七八～六四八	
8	87P	-11行目	白刃前今に交	白刃前に交	
9	89P	-6行目	安定	安帝	
10	90P	10行目	三月辛未に朔	三月辛未の朔	
11	107	図表7行目	(三六六)	(二六六)	20240603追記
12	113P	-6行目	右のB表によって見ると、	B表によって見ると、	
13	114P	B表	<442>	<443>	
14	125P	-6行目	(建武中元元年)	(建武中元二年)	
15	127P	2行目	「邪馬壹国」	「邪馬臺国」	
16	137P	8行目	故為倭王二日造	故為倭王旨造	
17	181P	2行目	李進●	李進熙	
18	181P	9行目	明治十七年、	明治十六年、	
19	190P	図表下段 6行目 及び 10行目		「高句麗碑考」(日本語) ※左記末尾に「碑文之由来記」が合本。 「高句麗碑考」(漢文) ※左記末尾に「高句麗碑出土記」(漢文) 所収 ★誤植ではないが補足として※印部分を編者注として付記予定	20240722追記
20	201P	5行目	、同「史料批判の方法と展望」『古文書研究』第四号)。	、同「史料批判の方法と展望」『古文書研究』第四号 ※『古代は沈黙せず』<ミネルヴァ書房復刊版>所収)。	
21	205P	9行目	「好太王碑文『改削』説への批判-李進熙氏『広開土王陵碑文の研究』について」(『史学雑誌』82-8、昭和四十八年八月)。	「好太王碑文『改削』説への批判-李進熙氏『広開土王陵碑文の研究』について」(『史学雑誌』82-9、昭和四十八年八月)。 ※『よみがえる卑弥呼』<ミネルヴァ書房復刊版>所収。	20240722再追記
22	219P	8行目	国譲王(の年号)九年辛卯年	故国譲王(の年号)九年辛卯年	20240722追記
23	222P	6行目	好太王の死(四二一)	好太王の死(四一二)	20240722追記
24	222P	8行目	(三九五～四一八)	(三九六～四一八)	
25	248P	2行目	(『「邪馬台国」はなかった』八十四ページ参照)。	(『「邪馬台国」はなかった』ミネルヴァ書房版、六十五ページ参照)。	
26	243P	-8行目	「キキ風」	「キキ国」	
27	251P	-3行目	妙宝輪を	妙法輪を	
28	251P	最終行	大業二年	大業三年 ※初出の朝日新聞社版、その後の角川文庫版、朝日文庫版ともに誤記載。	20240910追記
29	258P	8行目	幾百人	数百人	
30	265P	12行目	「大業四年二月」	「大業四年三月」 ※(補足)ミネルヴァ書房版264頁3行目 " (A) (大業四年) (三月) 壬戌 " および同頁11行目 "それは大業四年の三月であるから" の箇所においても当初朝日新聞社版(1973年初版)においては"二月"の記載でありました。当時藪田氏より一連の記載ミスの指摘を受け"三月"に修正されたはずの箇所なのですが、経緯は不明ですがミネルヴァ版265頁の箇所においては再度誤記載で再版されたようです。	20240829追記
31	272P	8行目	(この点、『「邪馬台国」はなかった』八四～八九ページ参照)。	(この点、『「邪馬台国」はなかった』ミネルヴァ書房版、六五～六七ページ参照)。	
32	287P	-7行目	<『史記』夏本紀、正義>	<『史記』夏本紀・正義>	
33	334P	-3行目	右にこれを表記する。	左にこれを表記する。	
34	334P	-2行目	右のように、	左のように、	
35	356P	10行目	妙法輪を	転法輪を	
36	358P	6行目	咸亨元年	咸亨元年	
37	359P	-8行目	貝原益軒『和爾雅』の「日本偽年号」等。	貝原益軒『統和漢名数』の「日本偽年号」等。	
38	P397	2行目	つぎの年表の	前頁の年表の	
39	433P	-4行目	二百早	二百早	
40	496P	11	使者か	使者が	
41	504P	-1次頁	(『「邪馬台国」徹底論争—邪馬壹国問題を基点として』新泉社刊、古代史徹底論争—「邪馬台国」シンポジウム以後駿々堂刊、参照)。	(『「邪馬台国」徹底論争—邪馬壹国問題を基点として』新泉社刊、『古代史徹底論争—「邪馬台国」シンポジウム以後』駿々堂刊、参照)。	
42	508P	-3行目	すでに『古代は輝いていた』(第三巻、朝日文庫)	すでに『古代は輝いていた』(第三巻、ミネルヴァ書房復刊)	
43	514P	図表下	朱鳥九年 辛戌	朱鳥九年 丙戌	
44	543P	8行目	「三角縁神獣鏡の史料批判—三角人獣鏡論」	「三角縁神獣鏡の史料批判—三角縁人獣鏡論」	
45	553	4行目	「追求」	「追葬」	